

“実践”製品価値向上とコストダウン同時実現セミナー

－ 製品価値は機能とコストのバランスで決まる！ －

(旧名称：製品価値の向上とコストダウン同時実現セミナー)

開催日時	2025年 7月10日(木)～11日(金) 2026年 3月10日(火)～11日(水)	東京会場 オンライン	各回とも2日間 10:00～17:00
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・上流プロセス段階からのコストダウン実現を目指す、開発設計・開発購買・生産技術部門のマネジャーおよびスタッフの方 ・コスト改革・原価企画の躍進に携わる方 ・事業戦略立案をされている方 など 		
講師	大塚 泰雄 氏 JMA専任講師 株MEマネジメントサービス 専務取締役		
参加料(税込)	法人会員：103,950円/1名 会員外：115,500円/1名		

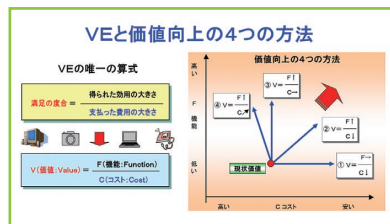
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

- ・顧客ニーズにあった高品質でコストの安い製品が求められています。そこで、原価の基礎知識を学び、製品価値を向上させる方法を、コンサルティングの現場で使用している「VE改善ソフト」を活用し効率的に学んでいただきます。
- ・コストダウンで大切なことは、製品機能を明確にし、技術的根拠より目標原価を設定することです。本セミナーでは、目標原価である製品の理想原価を設定し、現状とのギャップをコストダウン余地とし捉え、多岐にわたるコストダウン手法をもとに、大きなコストダウンを実現する方法を学んでいただきます。
- ・近年、製品機能において、ウエイトが高くなってきた感性機能(意匠機能・魅力機能)へのコストのかけ方を、本来の製品の使用機能と合わせ、最適コストの配分方法・考え方をVE・TRIZのコストダウン事例について紹介します。

本セミナーで習得できること

- ・事前にコストダウン余地(コストダウンの可能性金額)を予想する考え方
- ・製品原価の理想原価(あるべき原価)の設定方法
- ・製品の価値を機能とコストのバランスで考えるVE手法
- ・1製品に1,000のアイデアを出す実践的な6つのステップ
- ・システムチックにアイデアを発想する実践的なTRIZの活用方法
- ・ウエイトが高まる感性機能へのコストのかけ方



■ プログラム

2日間 10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 原価のしくみを覚えよう

－ コストダウンにはまずは原価の基礎を学ぶ －

- (1) 会社のお金の動きと利益
- (2) 材料費、労務費、経費とは何か
- (3) 材料費の計算のやり方
- (4) 加工費の計算のやり方

練習問題 製造原価を見積もってみる

2 コストダウン余地分析で目標原価を決める

－ 事前にコストダウンの可能性を分析する －

- (1) まずは製品別・事業別原価データの収集する
- (2) 設計改善対象製品の選定方法とは
- (3) 製品のコストダウン余地分析を分析する
- (4) コストダウンテーマの見つけ方

練習問題 製品の改善の方向性、コストダウン余地分析、コストダウンテーマ

3 製品の最適価値を追求する価値工学(VE)とは

－ 目的機能にかけの最適コストの追求 －

- (1) 価値工学 (VE) とは何か
- (2) 目的機能追求と機能定義
- (3) 機能評価と改善の方向性を決定する

Step1 目的機能追求 Step2 機能を定義する Step3 機能を整理する

Step1 機能を定量化する Step2 構造コストを各機能へ配分

Step3 低減余地から優先順序を決定 Step4 改善の方向性を決定

ソフトを使ったグループ演習1 製品の機能評価追求

4 アイデア無くして製品価値向上は達成できない

－ 1つの製品にアイデアを1,000件出す方法 －

- (1) アイデア発想の目的とポイント
- (2) アイデア発想の実践的な6つのステップ
- (3) 使えるアイデアに育てるには

練習問題 アイデア発想のポイントとは

5 製品革新をサポートする発想法TRIZとは

－ 世界の発明原理TRIZを使ったコストダウン －

- (1) TRIZとは何か
- (2) 創始者アルトシュラーの発見とTRIZの特徴
- (3) 技術的矛盾を解消する対立マトリックスの使い方
- (4) 対立マトリックスを実務で使いこなす
- (5) アイデア発想に6000ある世の中の科学的原理・法則を活用する

ソフトを使ったグループ演習2 画期的なアイデアの発想

6 製品機能のウエイトが感性機能へシフトする

－ 感性機能へのコストのかけ方とコストダウンの実践 －

- (1) 製品の価値を上げて利益を上げる
- (2) 感性機能と評価の考え方
- (3) 感性機能を織り込んだ感性VEの考え方
- (4) VE・TRIZを活用したコストダウン事例紹介
- (5) コストダウンの実践にあたり

7 実践で使う前に価値工学(VE)の使い方をマスターする

－ ステップ化されたソフトを使って効率良く分析する －

- Step1 コストダウンの可能性分析
- Step2 製品機能分析
- Step3 製品機能コスト分析
- Step4 改善の方向性決定
- Step5 アイデア発想
- Step6 改善の評価

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

